

法人番号	131090
プロジェクト番号	S1311024

**平成25年度～平成29年度「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」
研究成果報告書概要**

- 1 学校法人名 学校法人武蔵野美術大学 2 大学名 武蔵野美術大学
- 3 研究組織名 武蔵野美術大学 造形研究センター
- 4 プロジェクト所在地 東京都小平市小川町 1-736
- 5 研究プロジェクト名 近現代建築空間および生活デザインの高度なデジタル・アーカイブ化と、生活文化空間の総合的研究
- 6 研究観点 研究拠点を形成する研究

7 研究代表者

研究代表者名	所属部局名	職名
田中 正之	造形学部 造形文化・美学美術史	教授

8 プロジェクト参加研究者数 18 名

- 9 該当審査区分
- 理工・情報
- 生物・医歯
- 人文・社会

10 研究プロジェクトに参加する主な研究者

研究者名	所属・職名	プロジェクトでの研究課題	プロジェクトでの役割
松葉一清	造形文化・美学美術史 教授	近現代建築設計資料のデジタル化と建築文化史研究	近現代建築空間のデジタル・アーカイブの高度化
田中正之	造形文化・美学美術史 教授	近現代建築資料とミュージアム	近現代建築空間のデジタル・アーカイブの高度化
布施 茂	建築学科 教授	建築図面・資料の分析とデジタル化	芦原建築図面のアーカイブ化の推進
篠原規行	映像学科 教授	キャンパス建築風景の映像記録	近現代建築資料のアーカイブ化のための映像技術の開発と記録
保坂陽一郎 <small>(平成 28 年 12 月 28 日死去)</small>	名誉教授	キャンパス建築の歴史と図面の分析	大学キャンパス計画の歴史的検証と意義
柏木博	名誉教授	プロダクト分野に関する比較文化史研究およびアーカイブ化の手法研究	視覚的、触知的なデジタル・アーカイブ化の手法開発研究
寺原芳彦	名誉教授	名作椅子と空間性における多角的なデザイン分析	名作椅子の立体画像検索システムの高度化
小泉誠	空間演出デザイン学科 教授	プロダクト分野に関する比較文化史研究およびアーカイブ化の手法研究	プロダクト分野におけるデジタル・アーカイブ化の手法開発研究
高島直之	芸術文化学科 教授	デザイン論およびデザイン史的分析、比較文化史研究	プロダクト分野におけるデザイン史研究および比較文化史研究
(共同研究機関等) 芦原太郎	芦原太郎建築事務所 造形研究センター 客員研究員	芦原義信建築図面資料の調査と分析	芦原建築図面のアーカイブ化とその公開の問題の検証
野呂一幸	スターツ CAM 株式会社 社顧問 造形研究センター 客員研究員	建築図面・資料の分析・調査協力	建築図面の多角的分析

法人番号	131090
プロジェクト番号	S1311024

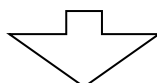
サラ・ティズリー	ロンドン王立芸術学院 教授 B 造形研究センター 客 員 研究員	プロダクト分野に関する比較文化史研 究およびアーカイブ化の手法研究	日本のプロダクトデザイン研究と デジタル・アーカイブの国際連携 の推進
藤原工	(株)灯工舎 代表取 締役 造形研究センター 客 員 研究員	古灯器、照明に関する専門研究	江戸期の古灯器の分析と調査 研究
唐澤昌宏	東京国立近代美術館 工芸課長 造形研究センター 客 員 研究員	陶磁器に関するアーカイブ化と比較文 化史研究	アジアにおける古陶磁器に関す る分析、調査研究
藤木武史	コクヨ(株)ステーショ ナリー事業本部 造形研究センター 客 員 研究員	椅子とヒトとの工学的デザイン研究	椅子の立体画像検索システムの 高度化の研究
江口勲	女子美術短期大学 非常勤講師 造形研究センター 客 員 研究員	椅子と空間の多角的なデザイン研究	椅子の立体画像検索システムの 高度化の研究
橋本光雄	mh+デザイン主宰 造形研究センター 客 員 研究員	ハーマンミラー社におけるイームズデ ザイン研究	イームズデザインの社会的価 値・感性の分析、製品図面のデ ジタル化の研究
丸山もとこ	藤森照信事務所 造形研究センター 客 員 研究員	建築図面・資料の分析とデジタル化	建築図面資料のアーカイブ化の ための方法論の開発

<研究者の変更状況(研究代表者を含む)>

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
	研究員追加		

(変更の時期:平成26年4月1日)



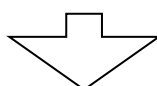
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
藤森照信事務所 元・東京大学生産技術 研究所博士研究員	藤森照信事務所 造形研究センター客員研究員	丸山もとこ	建築図面資料のアーカイ ブ化のための方法論の開 発

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
キャンパス建築の歴史と図面 の分析	名誉教授	保坂陽一郎	大学キャンパス計画の歴史的検 証と意義

(変更の時期:平成28年12月28日)



新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
死去により削除			

法人番号	131090
プロジェクト番号	S1311024

11 研究の概要(※ 項目全体を10枚以内で作成)

(1) 研究プロジェクトの目的・意義及び計画の概要

【研究の目的・意義】

本研究の目的は、近現代建築ならびに生活デザイン(古灯器、照明器具、陶磁器、椅子、家具等)の高度なデジタル・アーカイブ化を行い、それらの融合的・総合的研究を推進し、教育や創作への利活用の手法を開発することにある。日本の近現代建築資料の保存は、造形研究分野での国家的課題となっている。武蔵野美術大学は、建築家芦原義信氏の図面等の建築関連資料を大量に収蔵しており、資料のデジタル・アーカイブ化は、国の文化政策と方向性を一にした形での、大学研究機関ならではの公的な社会貢献を果たすと言える。加えて建築図面のデジタル・アーカイブ化の手法は、未だ開発途上であり、同じ試みを行っている他の研究諸機関との情報共有やネットワーク化も急務である。あわせて、建築空間と密接に関わる生活デザインのコレクションとして本学が近年収蔵した日本近代の照明器具や、長年蓄積してきた椅子などのデジタル・アーカイブ化も進め、近代における生活文化空間の総合的かつ体系的研究の基盤を築いていく。アーカイブ化にあたっては高度な画像化を行い、かつデジタル・アーカイブ資源の活用を視野に入れ、共有や検索のためのプログラムの研究や、公開のためのデバイス・ツールの開発などを推進し、生活の美と豊かさを創出する造形学研究の高度化を図る。

平成 25 年度および平成 26 年度には、デジタル・アーカイブ化の作業および諸資料の保存管理のためのスペースとして整備し、建築関連資料のデジタル・アーカイブ化の手法の検討と開発、ならびに・生活デザイン関連資料の3Dデジタル画像化の手法の検討と開発を行った。建築関連資料の保管とアーカイブ化に関する研究会を開催し、あわせて他の研究諸機関を視察し、情報共有やネットワーク化のための意見交換を行った。諸資料の追加的入手と、生活空間におけるデザイン思想を検証した。平成 27 年度には、諸資料のデジタル・アーカイブ化作業を本格化し、研究会等の開催を継続、デジタル・アーカイブ化済みの資料に基づくデザイン思想の検証の研究を進めた。平成 28 年度および平成 29 年度は、デジタル・アーカイブ化の作業、研究会の開催、生活空間におけるデザイン思想の検証を継続しつつ、展覧会、シンポジウム、冊子体(図録を含む)等によって成果を公表した。同時に研究・教育・創作に活用するためのデバイス・ツールの開発に着手し公開した。

本研究の成果の意義を列挙すると、以下のとおりとなる。

① 芦原義信建築図面を中心とした近現代建築資料のデジタル・アーカイブ化

芦原義信を始めとした日本の近現代建築家の手書き建築図面等は現在散逸の危機にあり、貴重な文化財を永遠に失いかねない状況にある。それらの保存管理の徹底は本学をはじめ日本全体の喫緊の課題であるが、オリジナルの保存管理のみならず、デジタル・アーカイブ化によるその資源化(研究、教育、創作への利用や応用、共有を可能とすること)も重要な課題となっている。本プロジェクトは、そのための手法の開発を行い、広く日本の近現代建築資料の保存と資源化のための基盤の構築を図った。

② 生活デザインの高度なデジタル・アーカイブ化

本学がこれまで収集してきた古灯器、照明器具、陶磁器、椅子、家具等の生活デザイン領域の資料をデジタル・アーカイブ化するとともに、これら立体造形の三次元性を踏まえた画像化を行った。たとえば椅子や陶磁器等においては 360 度、上下左右、どの方向からの形態も自由に確認できる画像化とインタラクティブな閲覧方法の開発を行うことによって、より高度なデジタル造形アーカイブのあり方を示すとともに、タブレット端末等のデバイスの活用の方法を開発した。

③ 生活文化空間の総合的研究

建築空間の研究と生活デザインの研究とを同一プロジェクト内で融合することによって、領域横断的な研究を試みた。生活文化空間の総合的研究として、建築、インテリア、プロダクトをひとつの枠組みのなかで捉えて体系化し、豊かな生活を新たに提案しうる造形学研究の方向と方法を示した。

④ 映像を活用した建築空間と生活造形のアーカイブ化

アーカイブ化にあたっては、一般的な静止画像を用いたデータベースにとどまることなく、動画による映像、CG等を積極的に活用し、建築の過去の状態の再現や現状の記録化を図るとともに、それらをインタラクティブなツールを用いて閲覧することにより新たな研究、教育、創作へ応用可能な手法を開発した。

(2) 研究組織

2つの研究テーマからなる本プロジェクトでは、研究代表者田中正之が研究全体を統括し、2つのテーマ間の連携を図った。各テーマでは、それぞれの研究代表が研究推進の責任を負った。「近現代建築資料」では本学造形学部専任教員および名誉教授の4名(平成28年12月28日に5名より変更)、学外の客員研究員3名の計7名、「生活文化空間」では本学造形学部専任教員および名誉教授の4名と学外の客員研究員6名の計10名を担当研究員として配置。研究は「造形研究センター運営委員会」と「美術館・図書館」

法人番号	131090
プロジェクト番号	S1311024

によって組織的に支援される体制をとった。それぞれの担当分野での研究成果は、研究会において共有化を図った。諸資料の整理およびデジタル化作業に大学院生が参加。他機関との連携に関しては、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、金沢工業大学建築アーカイブス等の機関と研究会等において密接に情報交換を行い、また客員研究員芦原太郎が国立近現代建築資料館運営委員および DAAS(国土交通省 Digital Archives for Architectural Space) 理事長を兼任。

(3) 研究施設・設備等

研究施設としては、本プロジェクト「近現代建築空間および生活デザインの高度なデジタル・アーカイブ化と、生活文化空間の総合的研究」の開始に際して、初年度(平成 25 年)に本学 12 号館地下の倉庫(12 号館地下 2 階 B-201 倉庫 468 m²)を研究スペースとして改修し、デジタル・アーカイブ化の作業および諸資料の保存管理のためのスペースとして整備した。改修後、同スペースは造形研究センターの「デザイン・アーカイブ収蔵庫」として研究活用が図られ、文化資源の保存展示スペースとしての機能も整備し、芦原義信建築図面アーカイブ、日本の古灯器(山際照明造形美術振興会旧蔵資料)、ヨーロッパの照明器具(エツレ・ソットサスの照明器具コレクション)等の研究資源アーカイブの保存の場とした。特に、芦原義信資料については、大型図面の保管、紙媒体の劣化への対処など、建築図面に特化した設備を整えた。その後、建築資料のアーカイブ化を計画中の団体からの問い合わせや見学にも応じている。

研究設備では、1940年代から80年代のヨーロッパの近代名作椅子を研究するための資料として「20 世紀の近代椅子コレクション全 12 脚」(展示を含む使用時間は、平成 28 年度時点で 114 時間)および「倉俣史朗 ヨセフ・ホフマンへのオマージュ vol.2」(展示を含む使用時間は、平成 28 年度時点で 266 時間)を整備。美術館・図書館所蔵の既存資料と合わせて研究を推進。

(4) 研究成果の概要 ※下記、13及び14に対応する成果には下線及び*を付すこと。

【芦原義信建築資料】

建築図面や写真など総資料約 224,300 点のうち約 168,000 コマ分デジタル化。多様な検索が可能な*¹デジタル・データベースを構築。また*²⁴CG 等を活用した新たな映像アーカイブの作成も行った。*²⁵芦原および他の建築資料の保管・整理・展示に関しての調査成果をまとめ、アーカイブ整備とデータベース開発の成果公開のため、*²展覧会「芦原義信建築アーカイブ展—モダニズムにかけた夢」を開催。*³展覧会図録においては、データベース開発や映像アーカイブの製作、デジタル化された図面の研究的活用などについて論文として報告を行った。また、研究成果の一般向け公開を兼ねたデバイス・ツールとして、*⁴iOS アプリ「MAU-PIAZZA VR ムサビキャンパス—芦原義信による初期校舎をめぐる」を開発した。

【近代デザイン椅子資料】

武蔵野美術大学美術館が所蔵する近代デザインの椅子資料 375 脚の 3D デジタル画像化を行い*²⁸デジタル・アーカイブ化。デジタル画像を活用したデバイス・ツールとして、*⁵iOS アプリ「MAU M&L 近代椅子コレクション ムサビのイス 3D」を開発した。同アプリにおいては、タブレット端末のカメラ機能の用い、実際の生活空間を写しながら、画面上で仮想的に椅子を配置する機能も開発した。チャールズ・イームズの製作用図面資料に関しては、275 枚をデジタル画像化し、*²⁶図面の検証を進めた。その結果の成果発表として*⁶報告書『イームズの図面研究：図面に見るチャールズ・イームズ作品／製品の構成と概念及び日本への影響』を刊行した。

【照明器具資料】

エツレ・ソットサスのデザインによる照明器具 27 点を 330 コマ分デジタル画像化し、*²⁹データベースを整備。合わせて*⁷展覧会「ムサビのデザインⅣ 1980-1990's:エツレ・ソットサスとヌオーヴォ・デザイン」および*⁸同展図録により、その生活空間としてのデザインの側面を実践的に検証した。古灯器に関しては、*²⁹資料の基礎調査を行った上で、約 1,440 の資料を、約 1,300 コマ分デジタル画像化し、データベースを整備。*⁹展覧会「あかり / AKALI デザインされた日本の光」および*¹⁰同展図録において、実際の照明器具使用の空間を再現し、生活空間デザインとしての機能を検証した。

【陶磁器資料】

*²⁷所蔵陶磁器資料のデジタル・アーカイブ化についての調査を行い、当館所蔵資料のうち 5 点を抽出し、3D デジタル画像の作成および高解像度デジタルの撮影を行った。うち 4 点に関しては、合わせて CT スキャンによるデジタル画像化も行った。それらの画像をもとに、デバイス・ツールである*¹¹iOS アプリ「やきものの在処 デジ

法人番号	131090
プロジェクト番号	S1311024

「タルアーカイブ」を開発した。*¹² 展覧会「やきものの在処」および*¹³ 同展図録においては、生活空間における陶磁器の「在処(ありか)」に焦点を当てた検証を、小説や絵画とも関連させながら行った。

【産業工芸試験所関連資料】

手書き資料台帳や製作モデルなど総資料点数約 670 点を約 2,400 コマ分デジタル画像化し、館内閲覧用画像データベースを作成し、さらに先行研究がほとんどない*³⁰ 産業工芸試験所の活動の歴史についての調査を行った。それらの調査結果やデータベース整備の成果は、*¹⁴ 展覧会「モダンリビングへの夢ー産業工芸試験所の活動から」および*¹⁵ 同展図録によって公開した。

【「生活文化空間」の総合的研究】

照明器具の室内空間内での明かりの広がりの実験調査を行い、*¹⁶ 展覧会「あかり / AKALI デザインされた日本の光」と*¹⁷ 同展図録、および*¹⁸ 展覧会「ムサビのデザインⅣ 1980-1990's: エットレ・ソツトサスとヌオーヴォ・デザイン」および*¹⁹ 同展図録において成果を公開した。*²⁰ iOS アプリ「MAU M&L 近代椅子コレクション ムサビのイス 3D」では、仮想的に室内空間を椅子によってデザインする機能を開発。*²¹ 展覧会「ムサビのデザインⅥ: みんなのへや」と*²² 同展図録においては、プロダクト・デザインがどのような室内空間を作り出すのかを、ウィーン工房、北欧、ミッド・センチュリー・アメリカン・デザイン、戦後日本に焦点を当てて、その思想的・社会的背景も含めて検証した。同展ではまた、芦原義信設計による 1967 年モントリオール万博日本館内における家具(デザイナー: 豊口克平など)の設置を通じた空間造形を検証した。

この項目に関しては、各研究員がそれぞれの担当分野における研究成果を*²³ 図書、雑誌等で発表した。

<優れた成果が上がった点>

研究や教育での利活用、およびデザイン・造形文化についての一般での理解を促進する複数の iOS アプリ(デバイス・ツール)の開発とその無償公開。建築図面等の建築関連資料のデジタル・データベース化のための作業工程の開発。

<課題となった点>

立体造形や図面等の、デザイン関連資料のデジタル化の方法の確立。ビッグデータ化が前提となる現在においては、安価に大量のデジタル画像化をなす方法が必須であるが、その開発までにはいたらなかった。また開発したデジタル・アーカイブの公開にあたっての著作権等の権利関係の問題に関しても、その処理などの課題が残された。

<自己評価の実施結果と対応状況>

造形研究センターの研究プロジェクトには直接かかわらない学内の教員によって構成される「造形研究センター第三者評価委員会」を 2018 年 3 月 13 日に開催し、研究活動とその成果についての評価を行った。評価委員は、中原俊三郎(工芸工業デザイン学科教授)、鈴木明(建築学科教授)、白尾隆太郎(学長補佐・通信教育課程長)、森敏生(学長補佐・身体文化研究室教授)。

<外部(第三者)評価の実施結果と対応状況>

造形研究センター外部評価委員会を 2018 年 3 月 12 日に開催し、研究活動とその成果についての評価を行った。評価委員は、藤森照信(建築家/建築史家/東京大学名誉教授)、小石新八(空間演出デザイナー/本学名誉教授)。

<研究期間終了後の展望>

デジタル・データベースおよび iOS アプリの公開とアップデートを継続的に行っていく。

<研究成果の副次的効果>

特になし。

12 キーワード(当該研究内容をよく表していると思われるものを 8 項目以内で記載してください。)

- (1) 建築史 (2) デザイン史 (3) デザイン論
 (4) アートドキュメンテーション (5) 工芸史 (6) プロダクトデザイン

法人番号	131090
プロジェクト番号	S1311024

(7) デザイン研究 (8) インテリア

13 研究発表の状況(研究論文等公表状況。印刷中も含む。)

上記、11(4)に記載した研究成果に対応するものには*を付すこと。

<雑誌論文>

・テーマ1

1. *²³ 松葉一清「永遠の輪廻～名護市庁舎の30年」、『建築雑誌』、2014年6月号、日本建築学会、2014年、査読無
2. *²⁵ 松葉一清、田中正之「建築ミュージアムの資料と展示をめぐる」『美史研ジャーナル』(武蔵野美術大学造形文化・美学美術史研究室)第11号、2014年3月、46～57頁
3. *²⁵ 丸山もとこ「建築めぐり」、季刊『ファインステール』、第57巻2号(2013年4月)から第59巻

・テーマ2

1. *²³ 柏木博、高島直之「シンポジウム記録:50年代の文化とデザイン」、『印刷博物館 年報 2008—2010』2013年、68～78頁
2. *²³ 高島直之「象形と非象形のあいだで—土屋幸夫のメビウスの思考」『土屋幸夫 美術家、デザイナー、教育者』展図録、目黒区美術館、2013年、3～6頁、査読無
3. *²³ 高島直之「鈴木紀慶『インテリアデザインが生まれたとき』(解説論稿)、剣持勇の〈ジャパニーズ・モダン〉再考』、鹿島出版会、2015年、166～172頁
4. *²³ 高島直之「外部と内部のトポロジカルな構造 図と地を転換する芦原義信の設計思想が明らかに」、『建築技術』2017年8月号(通巻第82号)、(株)建築技術、184頁
5. *²³ 高島直之「紙に宿る昭和の記憶——道内で使われていた包装紙や菓子箱、酒のラベル」、『北海道新聞』2017年11月30日夕刊、北海道新聞社、第10面

<図書>

・テーマ1

1. *²³ 柏木博『日記で読む文豪の部屋』、白水社、2014年
2. *^{8,18} 柏木博、松葉一清『ムサビのデザインIV 1980-1990's:エツレ・ソツサスとヌオーヴォ・デザイン』展図録、武蔵野美術大学 美術館・図書館／造形研究センター、2014年
3. *²³ 柏木博『日記で読む文豪の部屋』白水社、2014年
4. *²³ 柏木博『家事の政治学』、岩波書店、2015年
5. *²³ 松葉一清、保坂陽一郎『応答 漂うモダニズム』(楨文彦・真壁智治編著)左右社、2015年
6. *²³ 松葉一清・野呂一幸『ドバイ〈超〉超高層都市』、鹿島出版会、2015年
7. *²³ 松葉一清『集合住宅:二〇世紀のユートピア』(ちくま新書)、筑摩書房、2016年
8. *²³ 松葉一清『現代建築のトリセツ』(PHP新書)、PHP出版、2016年
9. *³ 松葉一清、芦原太郎、布施茂、野呂一幸、篠原規行、田中正之『芦原義信建築アーカイブ展—モダニズムにかけた夢』展図録、2017年

・テーマ2

1. *²⁶ 寺原芳彦『世界の名作40選 うしろ姿から探る機能と美』、丸善出版、2013年
2. *²³ 小泉誠『地味のあるデザイン——日本の家具に導かれて』六耀社、2015年
3. *^{10,16} 藤原工『あかり/AKALI デザインされた日本の光』展図録、武蔵野美術大学 美術館・図書館、2016年
4. *²¹ 柏木博、田中正之『ムサビのデザインVI:みんなのへや』展図録、武蔵野美術大学 美術館・図書館、

法人番号	131090
プロジェクト番号	S1311024

2016 年

5. *²³ 柏木博『視覚の生命力——イメージの復権』岩波書店、2017 年
6. *¹⁵ 柏木博、高島直之『モダンリビングへの夢—産業工芸試験所の活動から』展図録、武蔵野美術大学美術館・図書館、2017 年
7. *¹³ 田中正之、唐澤昌宏『やきものの在処』展図録、武蔵野美術大学 美術館・図書館、2017 年
8. *²³ 小泉誠(分担執筆)『現代デザイン辞典 2016』平凡社、2016 年

<学会発表>

なし

<研究成果の公開状況>(上記以外)

【データベース】

・テーマ1

*¹「芦原義信建築資料アーカイブ」のデータベース(造形研究センターウェブサイト及び館蔵資料公開データベースにて公開予定)。

・テーマ2

*²⁴ 武蔵野美術大学美術館・図書館 館蔵資料公開データベース(「照明器具資料」、「陶磁器資料」、「近代デザイン椅子資料」)

【展覧会】

・テーマ1

*²「芦原義信建築アーカイブ展—モダニズムにかけた夢」展、武蔵野美術大学美術館、2017 年 5 月 22 日～8 月 13 日

・テーマ2

*^{7,18}「ムサビのデザインⅣ 1980-1990's: エットレ・ソットサスとヌオーヴォ・デザイン」展、武蔵野美術大学美術館、2014 年 9 月 8 日～10 月 27 日

*²¹「ムサビのデザインⅥ: みんなのへや」展、武蔵野美術大学美術館、2016 年 9 月 5 日～11 月 12 日

*^{9,16}「あかり/AKALI—デザインされた日本の光」展、武蔵野美術大学美術館、2016 年 9 月 5 日～11 月 12 日

*¹⁴「モダンリビングへの夢—産業工芸試験所の活動から」展、武蔵野美術大学美術館、2017 年 5 月 22 日～8 月 13 日

*¹²「やきものの在処(ありか)」展、武蔵野美術大学美術館、2017 年 9 月 4 日～11 月 11 日

【アプリケーション】

・テーマ1

*⁴ iOS アプリ「MAU-PIAZZA VR ムサビキャンパス—芦原義信による初期校舎をめぐる」

・テーマ2

*^{5,19} iOS アプリ「MAU M&L 近代椅子コレクション ムサビのイス 3D」

*¹¹ iOS アプリ「やきものの在処 デジタルアーカイブ」

法人番号	131090
プロジェクト番号	S1311024

シンポジウム・学会等の実施状況、インターネットでの公開状況等

<既に実施しているもの>

・テーマ1

1. *²⁵ 松葉一清、田中正之、甲田洋二(本学学長(当時))、鈴木久雄(本学教員(当時))「キャンパス誕生半世紀～芦原義信モダニズムの夢」、武蔵野美術大学美術館ホール、2013年11月25日
2. *² 松葉一清、田中正之、芦原太郎「芦原義信建築アーカイブについて——「アーカイブの意義 父が残そうとしたもの」および「芦原義信建築アーカイブとその可能性について」、武蔵野美術大学美術館ホール、2017年5月27日
3. *¹⁴ 藤森照信(建築家/建築史家)、高島直之「モダンリビングへの夢」、武蔵野美術大学美術館ホール、2017年6月24日
4. *² 野呂一幸、上口泰位(株式会社 日本設計 建築設計群専任部長)、山下博満(株式会社 日本設計 プロジェクト管理部部長)「手描きの線から立ち上がる関係性の美学」、武蔵野美術大学美術館ホール、2017年7月5日

・テーマ2

1. *²¹ 柏木博、松葉一清、田中正之「みんなのへやー「モダン・リビング」の室内: イームズ・デザインとアートのキアズム」、武蔵野美術大学美術館ホール、2016年10月1日

【研究機関のウェブサイト】

武蔵野美術大学造形研究センターweb サイト <http://rcad.musabi.ac.jp/>

【個々の展覧会に関するウェブサイト】

・テーマ1

- *²「芦原義信建築アーカイブ展—モダニズムにかけた夢」

<http://mauml.musabi.ac.jp/museum/archives/11114>

・テーマ2

- *^{7,18r}「ムサビのデザインIV 1980-1990's: エットレ・ソットサスとヌオーヴォ・デザイン」

<http://mauml.musabi.ac.jp/museum/archives/7987>

- *²¹「ムサビのデザインVI: みんなのへや」

<http://mauml.musabi.ac.jp/museum/archives/10134>

- *^{9,16}「あかり / AKALI デザインされた日本の光」

<http://mauml.musabi.ac.jp/museum/archives/10141>

- *¹⁴「モダンリビングへの夢—産業工芸試験所の活動から」

<http://mauml.musabi.ac.jp/museum/archives/11107>

- *¹²「やきものの在処(ありか)」

<http://mauml.musabi.ac.jp/museum/archives/11131>

<これから実施する予定のもの>

・テーマ1

- *「芦原義信建築資料アーカイブ」のデータベースの公開(本学造形研究センターウェブサイト及び館蔵データベース公開サイトにて公開予定)。

・テーマ2

- *「照明器具資料」のうち未公開分を館蔵データベース公開サイトにて公開予定。

法人番号	131090
プロジェクト番号	S1311024

14 その他の研究成果等

【研究成果報告書】

*⁶寺原芳彦、江口勲、藤木武史、橋本光雄『イームズの図面研究： 図面に見るチャールズ・イームズ作品／製品の構成と概念及び日本への影響』2018年3月31日

【研究会(口頭発表)】(会場の記載の無いものは、すべて武蔵野美術大学美術館・図書館)

・テーマ1

1. *²⁵野呂一幸「1960年代建築図面の読み方」、2013年10月1日
2. *²⁵渡邊研司(東海大学教授)、大宮司勝弘(東京家政学院大学助教)「戦後モダニズム建築の評価と保存」、2013年10月15日
3. *²⁵吉岡康浩(株式会社 NTT ファシリティーズ)、原田倫孝(株式会社 NTT ファシリティーズ総合研究所)「通信建築(吉田鉄郎関連資料他)のデジタル・アーカイブ化について」、2013年12月3日
4. *²⁵坪井賢一(株式会社ダイヤモンド社)、藤崎登(株式会社ダイヤモンド社)「『20世紀のダイヤモンド誌「週刊ダイヤモンド」デジタルアーカイブズ』について」、2014年1月14日
5. *²⁵松葉一清「現代都市をく記述する～批評としての建築写真」、2014年4月24日
6. *²⁵藤森照信、松葉一清「日本のローテンブルクをめざして～倉敷の街づくり」2014年6月
7. *²⁵野呂一幸「モダニズムの極北をめざして～ドバイの都市と建築」、2014年7月8日
8. *²⁵田中正之「建築ミュージアムの資料と展示をめぐる」、2014年7月8日
9. *²⁵竺覚暁(金沢工業大学ライブラリーセンター館長)「建築図面アーカイヴィングの実際的方法」、2014年11月5日
10. *²⁵丸山もとこ、野呂一幸「『芦原義信』建築調査報告」、2014年11月26日
11. *²⁵畑田尚子(清水建設株式会社)「清水建設の建築アーカイブについて」、2015年3月11日 清水建設本社
12. *²⁵松永安光(近代建築研究所主宰)「芦原義信のレガシー —われわれは何を受継ぐのか」2015年7月30日 武蔵野美術大学デザイン・ラウンジ
13. *²⁵陣内秀信(法政大学 教授)「『街並みの美学』再読～21世紀の景観論への示唆」、2015年12月2日
14. *²⁵篠原規行「『キャンパス建築風景の映像記録』素材公開と中間報告」2016年6月27日
15. *²⁵芦原太郎「建築家・芦原義信と建築資料のアーカイブについて」2016年9月14日
16. *²³布施茂「開館 15周年記念『群馬県立館林美術館の建築とランドスケープデザイン』」群馬県立館林美術館、2016年10月30日

・テーマ2

1. *²⁷唐澤昌宏「陶磁資料のデジタル・アーカイブ化について」2013年11月20日
2. *^{1,28,29}村田良二(東京国立博物館学芸企画部博物館情報課情報管理室長)「3D データの活用と他館とのデータベース連携について」、2013年12月10日
3. *⁷内田 繁(インテリアデザイナー)、柏木 博、松葉一清「ラディカルデザインの1980年代」、2014年9月13日
4. *²⁶キム・ミョンハン(aA デザインミュージアム社長)、キム・チソン(S plus Design 主宰)「aA デザインミュージアムのコレクションとC・イームズについて」、2014年9月25日
5. *²⁹藤原工「古灯器資料に関する研究経過報告」、2015年6月15日
6. *²⁹岩井一幸(一般財団法人工芸財団)「産工試関係資料の国内所在について」、2015年9月17日
7. *²⁹渥美浩章(一般財団法人工芸財団理事)「産工試及び製品科学研究所での研究事業について」、2015年12月3日
8. *⁹小泉誠、藤原工「道具としてのあかり」2016年9月5日
9. *⁹柏木博、藤原工「祝祭とあかり」2016年9月12日
10. *³⁰庄子晃子(東北工業大学名誉教授)「東北工芸協会・東北北海道工芸協会を中心に」2016年9月26日
11. *⁹落合 勉(照明文化研究会会長／本学非常勤講師)「日本のあかり」2016年10月8日
12. *¹⁴藤森照信、高島直之 対談「モダンリビングへの夢」(「モダンリビングへの夢」展関連イベント)2017年6月24日

【その他】

・テーマ1

1. *²⁵松葉一清「村井修 都市のアンクル(対談、聞き手)」、「東京人」2013年11月号特集・丹下健三と東京オリンピック、都市出版、2013年

法人番号	131090
プロジェクト番号	S1311024

2. *²⁴ 篠原規行「武蔵野美術大学鷹の台キャンパスの映像ドキュメント「時の集積」ー建築と時間、その情報性と表現性」(タイムラプス映像、キャンパスCG映像) 2017年5月
・テーマ2
1. *²³ 寺原芳彦「教育の現場からみる次世代の家具・インテリアの指向性」(講演)、アメリカ広葉樹セミナー(主催:アメリカ広葉樹輸出協会)、2014年6月24日
2. *²³ 藤木武史「デザイン思考型コミュニケーションアプローチ」(講演)、人間中心設計機構、2014年8月12日
3. *²³ 小泉誠(対談、聞き手)「内田繁×杉本貴志」、「商店建築」2015年8月号 創刊60周年記念

15 「選定時」及び「中間評価時」に付された留意事項及び対応

<「選定時」に付された留意事項>

デジタル・アーカイブ化の手法が示されておらず、また、アーカイブズを利用した研究が不明瞭であるので留意すること。

<「選定時」に付された留意事項への対応>

デジタル・アーカイブ化に際しては、平成25年度および26年度に、建築図面のデジタル画像化の手法(ファイル形式の検討、使用するスキャナーのタイプの選定)およびデザイン資料の3D画像作成のための様々な手法(3Dマルチアームを使ったデジタルカメラ全面撮影によるオブジェクトVR、フォトスキャン方式またはフォトグラメトリ方式、パターン投影方式、赤外線照射方式)を実際の撮影対象を用いて実験し、加えてCTスキャナーの活用の検討も行った。これらの検証結果を踏まえて手法を選定し、平成27年度にデジタル・アーカイブ化の作業を遂行した。データベース化にあたっては、建築関連資料に関しては独自のプログラムを開発、デザイン資料に関しては既存のシステム(ミュージズテイク)を活用した。データ入力・保管にはクラウドシステムを用い、学内外間でのシームレスなデータ作成作業を進めた。デジタルデータ化された資料は、タブレット端末等で使用できるアプリに活用し、現物のサイズやスケールや重量の影響を受けずに、また資料保存にも障害とならずにデザイン造形の教育・展示が推進できる方法を開発した。

<「中間評価時」に付された留意事項>

なし

<「中間評価時」に付された留意事項への対応>

なし

法人番号	131090
プロジェクト番号	S1311024

16 施設・装置・設備・研究費の支出状況(実績概要)

(千円)

年度・区分	支出額	内 訳						備考
		法人負担	私学助成	共同研究機関負担	受託研究等	寄付金	その他()	
平成25年度	施設	50,400	25,200	25,200	0	0	0	
	装置	0						
	設備	0						
	研究費	23,820	11,922	11,898	0	0	0	
平成26年度	施設	0						
	装置	0						
	設備	5,000	1,667	3,333	0	0	0	
	研究費	22,428	11,217	11,211	0	0	0	
平成27年度	施設	0						
	装置	0						
	設備	0						
	研究費	63,342	31,749	31,593	0	0	0	
平成28年度	施設	0	0	0	0	0	0	
	装置	0	0	0	0	0	0	
	設備	0	0	0	0	0	0	
	研究費	51,338	25,669	25,669	0	0	0	
平成29年度	施設	0	0	0	0	0	0	
	装置	0	0	0	0	0	0	
	設備	0	0	0	0	0	0	
	研究費	43,754	23,531	20,223	0	0	0	
総額	施設	50,400	25,200	25,200	0	0	0	0
	装置	0	0	0	0	0	0	0
	設備	5,000	1,667	3,333	0	0	0	0
	研究費	204,682	104,088	100,594	0	0	0	0
総計	260,082	130,955	129,127	0	0	0	0	

法人番号

131090

17施設・装置・設備の整備状況（私学助成を受けたものはすべて記載してください。）

《施設》（私学助成を受けていないものも含め、使用している施設をすべて記載してください。）

（千円）

施設の名 称	整備年度	研究施設面積	研究室等数	使用者数	事業経費	補助金額	補助主体
造形研究センター付属 デザイン・アーカイブ収蔵庫 (12号館B2F)	H25	468㎡	2	18	50,400	25,200	私学助成
美術館・図書館 美術館	H22	1201㎡	9	9	-	-	-
美術館・図書館 図書館	H21	66㎡	1	9	-	-	-

※ 私学助成による補助事業として行った新增築により、整備前と比較して増加した面積

_____㎡

《装置・設備》（私学助成を受けていないものは、主なもののみを記載してください。）

（千円）

装置・設備の名称	整備年度	型 番	台 数	稼働時間数	事業経費	補助金額	補助主体
(研究装置)							
(研究設備)							
20世紀近代椅子コレクション	H26		計12点	114 h	2,516	1,677	私学助成
1. スクールチェア		アルネ・ヤコブセン, 1955					
2. ダイニングチェア BO-63		フィン・ユール, 1952					
3. イージーチェア		ヴァーナー・パントン, 1973					
4. アームチェア PK-15		ポール・ケアホルム, 1979					
5. ロンド アームチェア		ヤン・ルンネ・クヌッセン, 1963					
6. トゥーゲットハットチェア		ミス・ファン・デル・ローエ, 1930頃					
7. アームチェア		ル・コルビュゼ, ビートル・ジャコブ, シェル・ロク・ペリク, 1929					
8. アマンタ		マリオ・ペッリーニ, 1966					
9. プロウ		1961-62					
10. テアトロ		アルド・ロッシ, 1981					
11. リエルナ		アキッレ・カステリオーニ, 1958					
12. エルダ		ジョエ・コロombo, 1963					
ヨセフ・ホフマンへの オマージュVol.2	H26	倉俣史朗, 1986	1	266 h	2,484	1,656	私学助成
(情報処理関係設備)							

法人番号

131090

18 研究費の支出状況

(千円)

テーマ1: 近現代建築資料のデジタル・アーカイブ化と、その利活用手法の研究

年 度	平成 25 年度	テーマ1		
小 科 目	支 出 額	積 算 内 訳		
		主 な 使 途	金 額	主 な 内 容
教 育 研 究 経 費 支 出				
消 耗 品 費	1,475	撮影用品	83	SDカード、カメラケース、バッテリー
		保存用品	1,255	中性紙保存箱、保存用紙
		その他	137	芦原義信関連図書、その他消耗品
光 熱 水 費	0			
通 信 運 搬 費	0			
印 刷 製 本 費	0			
旅 費 交 通 費	966	国内旅費	657	建築関係調査
		外国旅費	309	建築関係調査(ドイツ)
修 繕 費	0			
報 酬 ・ 委 託 料	178	謝礼金	178	研究会講師謝礼
支 払 手 数 料	4,536	資料デジタル化	1,391	写真デジタル化、資料スキャン、システム構築
		撮影・編集・デザイン料	1,728	文字起こし・編集、撮影、デザイン料
		その他	1,417	棚移設費
用 品 費	543	用品費	334	プリンタ、ストレージ、スキャナー、距離計
		撮影機材	209	空撮ヘリ
計	7,698			
ア ル バ イ ト 関 係 支 出				
人 件 費 支 出 (兼務職員)	42	資料整理	42	時給 870円、49時間 実人数 1人
教 育 研 究 経 費 支 出	0			
計	42			
設 備 関 係 支 出 (1個又は1組の価格が500万円未満のもの)				
教 育 研 究 用 機 器 備 品	9,877	機器備品	9,877	タイムラプス撮影機材、PC、カメラ、収蔵庫物品棚
図 書	0			
計	9,877			
研 究 ス タ ッ フ 関 係 支 出				
リサーチ・アシスタント				
ポスト・ドクター				
研究支援推進経費				
計	0			

法人番号

131090

テーマ1: 近現代建築資料のデジタル・アーカイブ化と、その利活用手法の研究

年 度	平成 26 年度	テ ー マ 1	積 算 内 訳	
小 科 目	支 出 額	主 な 使 途	金 額	主 な 内 容
教 育 研 究 経 費 支 出				
消 耗 品 費	971	保存用品	548	中性紙ボード
		撮影用品	48	空撮機材予備部品
		その他	375	資料、マット
光 熱 水 費	0			
通 信 運 搬 費	24	運搬費	24	資料運搬
印 刷 製 本 費	0		0	
旅 費 交 通 費	542	国内旅費交通費	542	建築調査
報 酬 ・ 委 託 料	172	講師謝礼	172	研究会講師謝礼 3回3名
支 払 手 数 料	8,123	システム開発・作業費	7,336	建築資料システム、資料デジタル化
		編集費	605	文字起こし、編集
		撮影費・デザイン料	182	映像・タイムラプス撮影、デザイン料
用 品 費	208	用品費	208	撮影機材一式
修 繕 費	0			
()				
計	10,040			
ア ル バ イ ト 関 係 支 出				
人 件 費 支 出 (兼務職員)	2,166	資料整理	2,166	時給 870(10月以降890)円, 年間時間数2464時間 実人数7名
教 育 研 究 経 費 支 出				
計	2,166			
設 備 関 係 支 出(1個又は1組の価格が500万円未満のもの)				
教 育 研 究 用 機 器 備 品	2,074	タイムラプス撮影	2,074	撮影機材一式
図 書	0			
計	2,074			
研 究 ス タ ッ フ 関 係 支 出				
リサーチ・アシスタント	0			
ポスト・ドクター	0			
研究支援推進経費	0			
計	0			

法人番号

131090

テーマ1: 近現代建築資料のデジタル・アーカイブ化と、その利活用手法の研究

年 度	平成 27 年度	テ ー マ 1		
小 科 目	支 出 額	積 算 内 訳		
		主 な 使 途	金 額	主 な 内 容
教 育 研 究 経 費 支 出				
消 耗 品 費	1,462	保存用品	1,340	中性紙保存箱、マット
		その他	122	カメラバッテリー、木材
光 熱 水 費	0		0	
通 信 運 搬 費	39	運搬費	39	資料運搬等
修 繕 費	173	修繕費	173	レンズ修理、資料補修
旅 費 交 通 費	66	国内旅費交通費	66	建築調査
報 酬・委 託 料	91	講師謝礼	91	研究会講師謝礼。2回2名
支 払 手 数 料	35,110	撮影費	5,479	タイムラプス撮影・制作費、建築撮影
		資料デジタル化・システム開発	29,427	建築資料スキャン、建築資料システム
		その他	204	編集関係、製本代
用 品 費	414	撮影機材	359	カメラ、レンズ、画像ソフトウェア
		PC周辺機器	55	ハードディスク
()				
計	37,355			
ア ル バ イ ト 関 係 支 出				
人 件 費 支 出 (兼務職員)	937	資料整理	937	時給890(10月以降910)円、年間時間数1042時間 実人数1名
教 育 研 究 経 費 支 出				
計	937			
設 備 関 係 支 出(1個又は1組の価格が500万円未満のもの)				
教 育 研 究 用 機 器 備 品	2,945	機器備品	2,945	物品棚、撮影機材、ストレージ、PC
図 書				
計	2,945			
研 究 ス タ ッ フ 関 係 支 出				
リサーチ・アシスタント				
ポスト・ドクター				
研究支援推進経費				
計	0			

法人番号

131090

テーマ1: 近現代建築資料のデジタル・アーカイブ化と、その利活用手法の研究

年度	平成 28 年度	テーマ1	積算内訳	
小科目	支出額	主な用途	金額	主な内容
教 育 研 究 経 費 支 出				
消耗品費	379		379	保存箱、SDカード
光熱水費	0			
通信運搬費	0			
印刷製本費	19		19	出力代、コピー
旅費交通費	322		322	建築調査 常滑、水戸
報酬・委託料	363		363	原図聞き取り調査謝礼、原稿執筆
支払手数料	18,683		18,683	スキャン作業、資料撮影
用品費	1,836		1,836	ソフトウェア、ハードディスク、
計	21,602			
ア ル バ イ ト 関 係 支 出				
人件費支出 (兼務職員)	780	資料整理		時給 940 円, 年間時間数848 時間
教育研究経費支出				実人数 2人
計	780			
設 備 関 係 支 出(1個又は1組の価格が500万円未満のもの)				
教育研究用機器備品	2,049			タッチパネルモニター、プロジェクター、ハードディスク
図 書				
計	2,049			
研 究 ス タ ッ プ 関 係 支 出				
リサーチ・アシスタント	0			
ポスト・ドクター	0			
研究支援推進経費	0			
計	0			

法人番号

131090

テーマ1: 近現代建築資料のデジタル・アーカイブ化と、その利活用手法の研究

年度	平成 29 年度	テーマ1	積算内訳	
小科目	支出額	主な用途	金額	主な内容
教育研究経費支出				
消耗品費	2,892			
光熱水費	0			
通信運搬費	31			資料借用
印刷製本費	399			「芦原展」広報物
旅費交通費	244	国内旅費交通費		資料調査旅費
支払手数料	11,701	展示関係	8,889	デザイン、撮影、会場設営
		その他	2,812	図録編集、翻訳
報酬・委託料	4,515	展覧会運営	4,515	会場整備、受付け
計	19,782			
アルバイト関係支出				
人件費支出 (兼務職員)	729	資料整理	729	時給 940円/960円 年間時間数 765.5時間 実人数 13人
教育研究経費支出				
計	729			
設備関係支出(1個又は1組の価格が500万円未満のもの)				
教育研究用機器備品	2,250	データベース用サーバー	2,250	
図書				
計	2,250			
研究スタッフ関係支出				
リサーチ・アシスタント	0			
ポスト・ドクター	0			
研究支援推進経費	0			
計	0			

法人番号

131090

テーマ2: 生活デザインの高度なデジタル・アーカイブ化と、その生活文化空間の総合的研究への応用

年 度	平成 25 年度	テ ー マ 2	積 算 内 訳	
小 科 目	支 出 額	主 な 使 途	金 額	主 な 内 容
教 育 研 究 経 費 支 出				
消 耗 品 費	578	保存用品	578	中性紙保存箱
			1,833	中性紙保存箱、保存用紙
		資料	133	芦原義信関連図書
光 熱 水 費	0			
通 信 運 搬 費	0			
印 刷 製 本 費	0			
旅 費 交 通 費	0			
修 繕 費	173	修復	173	図面修復
報 酬 ・ 委 託 料	33	謝礼金	33	研究会講師謝礼
支 払 手 数 料	5,364	資料デジタル化	2,655	資料スキャン、撮影
		作業費	2,510	資料梱包、分類作業
		その他	199	文字起こし他
用 品 費	55	用品費	55	スキャナー
計	6,203			
ア ル バ イ ト 関 係 支 出				
人 件 費 支 出 (兼務職員)	0			
教 育 研 究 経 費 支 出				
計	0			
設 備 関 係 支 出 (1個又は1組の価格が500万円未満のもの)				
教 育 研 究 用 機 器 備 品	0			
図 書	0			
計	0			
研 究 ス タ ッ フ 関 係 支 出				
リサーチ・アシスタント				
ポスト・ドクター				
研究支援推進経費				
計	0			

法人番号

131090

テーマ2: 生活デザインの高度なデジタル・アーカイブ化と、その生活文化空間の総合的研究への応用

年 度	平成 26 年度	テ ー マ 2	積 算 内 訳	
小 科 目	支 出 額	主 な 使 途	金 額	主 な 内 容
教 育 研 究 経 費 支 出				
消 耗 品 費	556	資料代	71	図書、図録
		展覧会消耗品	433	展覧会パネル、電球等
		その他	52	和ろうそく、USBメモリー等
光 熱 水 費	0			
通 信 運 搬 費	14	運搬費	14	資料運搬
印 刷 製 本 費	2,016	ポスター・チラシ	2,016	ソトサス展ポスター、チラシ印刷
旅 費 交 通 費	407	国内旅費交通費	344	デザイン資料、古灯器資料調査等
		外国旅費交通費	63	研究会講師旅費(海外)
報 酬 ・ 委 託 料	109	講師謝礼	109	研究会講師謝礼 1回2名
支 払 手 数 料	4,295	展示関係	2,678	展示施工、展示品輸送
		撮影関係	598	資料撮影、撮影諸作業
		その他	1,019	研究会テーブル起こし、資料燻蒸作業
用 品 費	439	用品費	439	ノートPC、展覧会用品
修 繕 費	0			
()				
計	7,836			
ア ル バ イ ト 関 係 支 出				
人 件 費 支 出 (兼務職員)	312	資料整理		時給 870(10月以降890)円、年間時間数345.5時間 実人数9名
教 育 研 究 経 費 支 出				
計	312			
設 備 関 係 支 出(1個又は1組の価格が500万円未満のもの)				
教 育 研 究 用 機 器 備 品	0		0	
図 書	0			
計	0			
研 究 ス タ ッ フ 関 係 支 出				
リサーチ・アシスタント	0			
ポスト・ドクター	0			
研究支援推進経費	0			
計	0			

法人番号

131090

テーマ2:生活デザインの高度なデジタル・アーカイブ化と、その生活文化空間の総合的研究への応用

年 度	平成 27 年度	テ ー マ 2	積 算 内 訳	
小 科 目	支 出 額	主 な 使 途	金 額	主 な 内 容
教 育 研 究 経 費 支 出				
消 耗 品 費	223	保存用品	208	中性紙保存箱
		その他	15	図録、ろうそく、文具
光 熱 水 費	0		0	
通 信 運 搬 費	19	運搬費	19	資料運搬等
印 刷 製 本 費	0		0	
旅 費 交 通 費	321	国内旅費交通費	321	デザイン資料調査、古灯器資料調査
報 酬 ・ 委 託 料	5	講師謝礼	5	研究会講師謝礼(交通費)1回計1名
支 払 手 数 料	20,277	撮影費	1,473	資料撮影費
		資料デジタル化	18,747	3Dスキャン費
		その他	57	博物館入館料、編集関係
用 品 費	435	用品費	435	撮影機材、ソフトウェア
修 繕 費	329	修繕費	329	資料ラベル除去
()				
計	21,609			
ア ル バ イ ト 関 係 支 出				
人 件 費 支 出 (兼務職員)	496	資料整理	496	時給890(10月以降910)円、年間時間数553時間 実人数1名
教 育 研 究 経 費 支 出				
計	496			
設 備 関 係 支 出 (1個又は1組の価格が500万円未満のもの)				
教 育 研 究 用 機 器 備 品				
図 書				
計	0			
研 究 ス タ ッ フ 関 係 支 出				
リサーチ・アシスタント				
ポスト・ドクター				
研究支援推進経費				
計	0			

法人番号

131090

テーマ2: 生活デザインの高度なデジタル・アーカイブ化と、その生活文化空間の総合的研究への応用

年度	平成 28 年度	テーマ2	積算内訳	
小科目	支出額	主な使途	金額	主な内容
教 育 研 究 経 費 支 出				
消耗品費	1,697		1,697	ろうそく、展示用パネル
光熱水費	0			
通信運搬費	209		209	資料撮影のための機材運搬、資料借用
印刷製本費	1,858		1,858	研究成果展広報物、
旅費交通費	174		174	資料調査、資料借用打合せ
報酬・委託料	5,869	謝礼金	67	研究会講師
		業務委託	5,802	研究成果展運営
支払手数料	16,005		16,005	研究成果展会場施工、資料撮影、デザイン、
用品費	12		12	資料計測用具
修繕費	1,028		1,028	資料燻蒸、修復
計	26,852			
ア ル バ イ ト 関 係 支 出				
人件費支出 (兼務職員)	55	資料整理	55	時給 940 円、 年間時間数 60.5 時間
教育研究経費支出				実人数4人
計	55			
設 備 関 係 支 出 (1 個 又 は 1 組 の 価 格 が 5 0 0 万 円 未 満 の も の)				
教育研究用機器備品	0			
図 書				
計	0			
研 究 ス タ ッ フ 関 係 支 出				
リサーチ・アシスタント	0	0	0	
ポスト・ドクター	0			
研究支援推進経費	0			
計	0			

法人番号

131090

テーマ2: 生活デザインの高度なデジタル・アーカイブ化と、その生活文化空間の総合的研究への応用

年度	平成 29 年度	テーマ2	積算内訳	
小科目	支出額	主な用途	金額	主な内容
教 育 研 究 経 費 支 出				
消耗品費	393			
光熱水費	0			
通信運搬費	170			資料借用
印刷製本費	835	展覧会広報物		「モダンリビング展」、「やきもの展」広報物
旅費交通費	229	資料借用、資料調査	229	猪熊弦一郎美術館、京都国際会館
支払手数料	11,745	展示関係	8,102	デザイン、撮影、会場設営
		その他	3,643	図録編集、翻訳
報酬・委託料	4,552	展覧会運営	4,552	会場整備、受付け
用品費	708		708	展覧会用タブレット 展示ケース
修繕費	33			
計	18,665			
ア ル バ イ ト 関 係 支 出				
人件費支出 (兼務職員)	78	資料整理	78	時給 940円/960円, 年間時間数 77.5 時間
教育研究経費支出				実人数 5人
計	78			
設 備 関 係 支 出(1個又は1組の価格が500万円未満のもの)				
教育研究用機器備品	2,250	データベース用サーバー	225	
図 書				
計	2,250			
研 究 ス タ ッ プ 関 係 支 出				
リサーチ・アシスタント	0			
ポスト・ドクター	0			
研究支援推進経費	0			
計	0			